

就職活動応援特集



海外のパートナーとともにイノベーションを起す
(右が岸本社長)

ジャパン・トゥエンティワン代表取締役社長／CEO
岸本 賢和さん

■海外技術を日本へ普及

当社（ジャパン・トゥエンティワン）は、海外技術を日本へと輸入する代理店業務や、インフラ関連の事業を自ら掘り起こす案件形成までを手がけるインフラを中心としたイノベーション商材の専門商社です。世界中のスタートアップが手がけている社会課題の解決につながるユニークな商材・技術を探し出し、日本へと展開しています。事業分野は水道のみならず、下水道や道路、交通などインフラ全般にわたります。

当社が手がけてきた商材・技術の代表格となるのが、衛星とAIを組み合わせて水道管の漏水調査を行う「アステラ」です。今や衛星を活用した漏水調査は珍しいものではなくなりましたが、その普及を果したのには間違いなく当社だと自負しています。

一方で、社会の変化は激しく、それに伴い商材・技術のライフサイクルは非常に早いものがあります。これまでの実績に満足せず、日々新しい商材・技術を食欲に探し続けています。

■成長を実感できる組織

社員数は約30人で、東京と、本社のある豊橋の2拠点を構えています。オフィス環境にはこだわりを持っており、とりわけ東京オフィスは渋谷の「ど真ん中」の好立地です。

社員の多くは中途採用で、年齢も30代が中心と比較的若い組織です。新規採用や、インターンも通年で受け付けており、現在も数名にインターン生として働いてもらっています。新規アプリケーションの開発に携わるなど、意欲的に働いていきますね。

水道の専門知識を持っている者もいますが、大半は当社で初めて水道に携わります。専門知識以上に必要なのは、コミュニケーション能力と、新しく面白い商材・技術を国内のインフラに普及させていくという熱意です。

全くのゼロベースから1億円クラスのビジネスを立ち上げるために必要なのは、熱意と素直さです。これを持った一人の人材が、見たことのない速度で、商材・技術を普及させていく、そのダイナミズムを味わえるのは当社ならではのと考えています。その過程ではチーム、個人とも大きく成長しますし、自分自身の労働市場における価値を高めたいと考える方にはうってつけの環境です。

■ともに挑戦し、学ぶ仲間

世界中の商材・技術を手がけるため、英語でのやり取りは欠かせません。会話は多少の努力が必要ですが、基本的なやり取りはメールなどテキストベースのため、AIツールを活用することで十分対応可能です。会社としても外部講座の受講を支援していますし、何よりも飛び込んで、学ぶという意欲さえあれば突破できると考えています。

求める人材像としては、自分自身で「これをやりたい」という思いを持ち、それを行動に移せる人です。パートナー企業や自社が目指す方向性を理解し、論理的に物事を捉えながら動けることも大切だと考えています。

当社の経営理念の中には「謙虚であり続ける」という文言があります。新しい技術や仕組みがすべて正しいと言うつもりはありません。これまで水道を守ってこられた自治体の皆さま、そしてさまざまな分野で支えてきた企業へのリスペクトを忘れてはならないと考えています。その上で、これまでの課題に向き合い、新しいことにチャレンジしながら会社としても、個人としても成長していきたいと考えています。新しい技術や事業に対する興味関心が強い人にとっては、非常に面白い会社です。

きらりと光るものを扱える楽しさを、ぜひ一緒に味わってみませんか。

世の中変える体験と一緒に

人事／採用担当者に聞く

当社のここを知ってほしい

専門性と人間力を磨く環境

■水インフラを支える“総合力。等に強み

日水コンは、水インフラを支える「総合水コンサルタント」です。創業70年近い長きにわたる歴史の中で、上下水道、河川、砂防、廃棄物処理等、水に関わる幅広い分野を手がけてきました。特に上下水道分野ではトップクラスの事業規模を持ち、国や自治体の事業運営に貢献しています。機械・電気、建築、情報等も含め、水に特化した多様な技術分野を社内にて有しており、それらを生かした総合力の高さが当社の強みの一つです。

■より健康的な働き方へ

近年、「当たり前」の水インフラを維持する難しさが増している中で当社は、計画や設計等、上流部分から自治体の事業運営を支えています。働き方の面では、ワークライフバランスを支える制度の整備にも注力しています。人を大事にする当社では、健康経営体系として「日水コンWLC (Work Life Circulation)」を位置付け、体・心の健康維持とパフォーマンスの維持・発揮を大切にしながら、社員が前向きに働ける環境づくりを進めています。

■社風知る機会を提供

採用活動では、学生に当社の業務のみならず、社風や働く社員を知っていただくことを重視しています。例年開催しているインターンシップは、まさに当社の仕事や雰囲気を知っていただく大切な機会だと考えています。開催期間は、夏季休暇期間を利用した8月上旬から9月下旬にかけて5日間実施しており、学生の方がスケジュールを合わせて参加しやすいように日程を調整しています。水インフラを支える仕事の誇りや社内の風通しの良さ、周囲と協力しながら働く面白さを実感していただける内容にしています。

■人材育成の環境も完備

コンサルタントの仕事は目に見える商材ではなく、人の技術力、知識、経験、提案力そのものが価値になります。そのため当社では、「日水コングループビジョン2030」の下、社会課題解決に資する「水のインパクトカンパニー」であり続けるべく、人材育成をとっても大切にしています。



日水コン コーポレート本部
人事・総務部 人事企画課

伊藤さん

入社時点では水コンサルタントとしての業務を一から学んでいただく体制を整えており、新入社員研修に加え、配属後1年間は年齢の近い先輩社員の下、OJTで学んでいただきます。その後も入社2年次研修、中堅研修、役職研修等を通じて、基礎力の習得や自律的なキャリア形成を支援しています。所属部署以外の業務に挑戦できるプロジェクト公募制度や、グローバル人材の育成を目的としたWIN (World Incubator) プログラム、技術士資格取得に向けた講座等もあり、専門性と人間力の両方を高められる環境を整えています。

■水インフラへの思いを形に

水環境や社会インフラに少しでも興味がある方には、ぜひインターンシップに参加していただければと思います。コンサルタントというと、ハードワーカーや個人プレーのイメージを抱かれることがありますが、当社はチームで知識や経験を持ち寄り、より良い提案を考えていく会社です。若手でも先輩や上司に意見を出しやすく、自分の考えが採用される環境があります。最初から専門知識がなくとも構いません。「水インフラを支えたい」「社会貢献性の高い仕事に携わりたい」という思いがあれば、それを形にできるフィールドがあります。まずは当社の仕事や雰囲気を知っていただけたら嬉しいです。

～就活生に読んでほしい水の書籍～



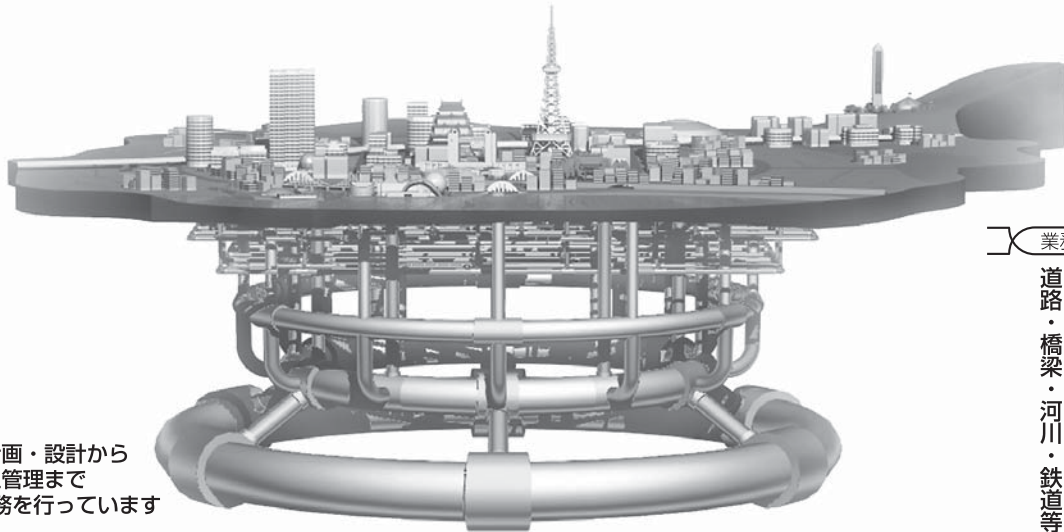
水道事業二〇二〇年報告書、その形態は地域の表情や担う役割によってさまざま。都道府県や市町村が単独で運営する方式に加え、複数の市町村が共同で運営する企業方式などがあり、こうした事業形態と水の供給方法が重なり合いながら、各地の水道を形づけている。

それでは、なぜ水道事業にはこれほど多様な形態があるのか。その疑問を解きほぐす出発点となるのが、本書「すいどうの図録」だ。著者は、国の行政官として長く水道行政に携わってきた。本書では、各都道府県の地域特性、水道の普及状況や事業形態、人口や水道に関する基礎資料など、豊富なデータを基に、全国の水道事業がどのように配置されているのかを分かりやすく解説している。あわせて、地域の歴史や共同意識の中から捉え直している点も特徴だ。本書は、そうした基礎知識を得るための一冊として、水道関係者にとつて必携の書となりそうだ。日本水道新聞社刊。A4判 106頁。税込2970円。

すいどうの図録

熊谷 和哉 著

水と生きる



調査・計画・設計から
施工管理まで
一貫した業務を行っています

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会会員



人・街・自然・いきいき

中日本建設コンサルタント株式会社

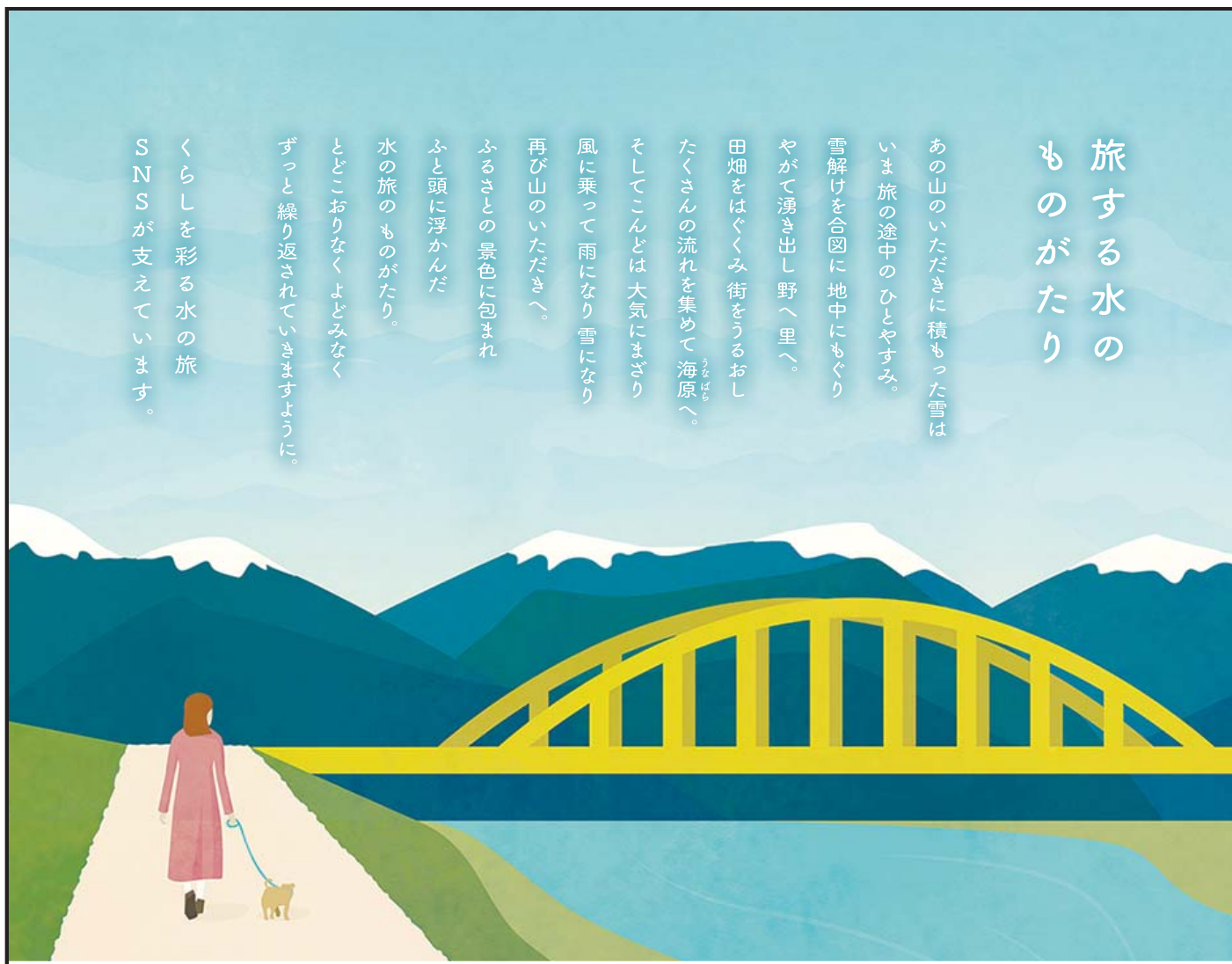
代表取締役社長 **庄 村 昌 明**

品質基本理念／顧客に信頼と満足を提供 品質基本方針／顧客第一、品質向上、社内協調

本 社／名古屋市中区丸の内一丁目16番15号
東京支社／東京都千代田区五番町14
大阪支社／大阪市中央区内本町1-3-5

☎052-232-6032
☎03-6261-3710
☎06-4794-7001

<https://www.nakanihon.co.jp/>



旅する水の
ものがたり

あふ山にいたるに積もった雪は
いま旅の途中のひとやすみ。
雪解けを合図に地中にもぐり
やがて湧き出し野へ里へ。
田畑をはぐくみ街をうるおし
たくさん流れを集めて海原へ
そしてこんとは大気にもさり
風に乗って雨になり雪になり
再び山のいたるへ。
ふるさとの景色に包まれ
ふと頭に浮かんだ
水の旅のものがたり。
とどこおりにくよとみなく
ずっと繰り返されていきますように。

くらしを彩る水の旅
SNSが支えています。

SNS 新日本設計株式会社

本 社：〒380-0917 長野県長野市稲葉 2561 TEL 026-266-9600
支 社／事務所：●東北支社 ●盛岡 ●秋田 ●仙台 ●山形 ●関東 ●新潟 ●名古屋

<https://www.sns.co.jp/>

代表取締役社長 吉澤 隆美
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員

